

専念寺通信

10月号 (NO.170) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

朝夕、虫の音が聞こえるようになりました。皆さま、おかわりなくお過ごしでいらっしゃいますか。

☆秋彼岸のご報告

今年の秋のお彼岸は、例年より比較的涼しく、天候にめぐまれましたためか、昨年よりはるかに大勢の檀家さまがお墓参りにおいで下さいました。入りの土曜日から明けの金曜まで、276軒の檀家さまが大玄関で記帳して下さいました。今年は新住職と若大黒、大黒、そして日によってはスタッフ渡辺も補佐に入らせて頂き、皆さまをお迎え致しました。今年から使用した書院に入るための階段の形のステップも好評で、書院前に設置したベンチも、皆さまひと休みされるのに使って下さいました。今年の夏はとても暑く、樹木の伸びるのが早く、墓地の小さな枝もあつという間に立派な木になり、檀家さまから切っほしいとのご要望を複数頂きました。彼岸が終わってから、順に木の手入れにとりかかっております。今年はいちよウの樹もかつてないほど大きく育ち、9月からぎんなんを落としはじめました。すでに300個くらいを洗って干し、年末年始のお守り用に準備しています。



例年より2か月くらい早い展開です。今年のお彼岸は世代交代のくつきりとした1

週間でした。壮年でいらした檀家さまが入院されたり、杖をついていらしたり、若い学生さんだった檀



家さまが結婚され一家の主となられたり。ほやほやの赤ちゃんだったお嬢ちゃんが中学生に、など、時のたつことの早さを感じたこととございました。お年を召した親御さんのために車を運転して来られる檀家さまがとても多く、狭い境内に車がいっぱいになる日もありました。代がかわっても、お墓参りには必ず来られる、そのような皆さまの信仰心と、亡くなった方への想いの篤さに私共も教えて頂くことのたくさんある、今年の秋のお彼岸でした。彼岸花は以前よりも増え、全部で15輪くらいが見事に咲き揃いました。檀家さまが下さった白い彼岸花も今年ご覧のように美しく咲きました。お中日には孫の男児、久希(7歳) 榛志(5歳)も玄関で皆さまにご挨拶をさせて頂きました。心の温かい檀家さまに教えて頂き、励まして頂きながら一同、法灯の護持につとめさせて頂きます。

寒暖の差の大きい秋ですが、皆さまくれぐれもお身体を大切にお過ごしくださいますよう。

平成26年10月1日

大黒

